

2013年6月5日

人は、日常生活において、その価値、ありがたきを特に意識することなく、「ことば」を用いて情報伝達・交換を行い、人間関係を確立・維持・発展させるが、このことばをある口予期せずして失うことがある。

失語症は、脳血管障害の後遺症によって生ずる代表的な言語障害の一つである。

わが国では脳卒中による発症例が多く、全国失語症友の会連合会の調査によると、失語症者がおよそ52万人以上もいると推定されている。失語症者のリハビリに関わる専門職種の一つに言語聴覚



與儀 賢也

論壇

士があり、その数は全国で約2万人、沖縄県内では約200人で、その数はまだ十分とは言えない。

また、医療、介護保険制度などの改訂により、失語症者のリハビリの継続にはさまざま

「失語症者」の取り巻く現状

生活の質向上へ環境整備を

な面で困難な状況であり、日く、大きな社会問題の一つとして認識し、対応すべき重要な課題であると考え。

失語症は、一昔前と比較すると、少しずつではあるがメ

が主催する第6回「言語リハ

これを機会に、失語症に関する認識を深め、言語に障害のある方々が再び社会復帰を果たすこと、そして、その人らしい社会生活を営めるよう

（那覇市、沖縄県言語聴覚士 会長、38歳）

（NPO法人失語症アイ振興会